



7月の野菜研

あおもりの未来
技術でサポート

令和2年8月6日
地方独立行政法人青森県産業技術センター 野菜研究所

7月に研究所内で行った行事、作業等について簡単に紹介します。

ナタネ原種の収穫

野菜研究所ではニンニクやナガイモの優良種苗の生産を行っていることは皆さんよくご存じでしょうが、実は畑作物のナタネやソバの原種生産も行っています。写真は7月20日に収穫したナタネの県奨励品種「キザキノナタネ」の栽培風景です。ナタネはきれいな黄色い花を咲かせますが、開花後、実を付けると小鳥(特にヒワ)が集中的に飛来し実を食べてしまいます。そのため、畑には防鳥網を張り大切な原種が食べられないようにしています。今年収穫したナタネ種子は穂発芽もほとんどなく、品質は良好でした。



防鳥網で被覆したナタネ畑



鳥害により脱粒した莢(写真上) コンバインによる収穫



東北農業研究論文賞受賞



品種開発部の前嶋部長と東研究管理員によって執筆された論文「反射シートと催芽切りも利用によるナガイモのむかご生産量向上」が令和元年度東北農業研究論文賞を受賞しました。この雑誌は東北地域の農業技術について研究論文を掲載しているもので、今回は高品質のナガイモ種苗をたくさん収穫できる技術が評価されました。

研修会等

7月7日、営農大学の生徒が来所し、野菜病害虫に関する実習が行われました。写真(右写真)は、ニンニクのイモグサレセンチュウを顕微鏡で観察している様子です。



7月8日、営農指導員や普及員等の担当者約40名が参加し、ナガイモ栽培技術研修会が開催されました(左写真)。研修では、生育状況や試験実施状況などが説明されました。

連絡先: 野菜研究所
Tel 0176-53-7171 Fax 0176-53-8934
Email nou_yasai@aomori-itc.or.jp